



遊 道 楽 歩
(雑 感)



秋も伊豆の旅になる

長野 修二



目次

秋の旅を考えていましたが、マギーがいっしょだどうしても宿が限定されてしまいます。

いろいろな行き先を検討してみましたが、適当な価格帯で犬を同伴できる宿はやはり伊豆が多いように感じます。

もっとも、心のどかで伊豆の景色や気候が自分にあっているのでしょうか。

妻のほうが伊豆にたどり着くのかもわかりません。

私たちがいく伊豆の旅は、いつも天気がよく楽しい旅になるからでしょう。

そういえば伊豆は母親が住みたいといていた場所です。

東京で生まれた母は、東京や千葉で青春を過ごし、両親（私の祖父母）とよく伊豆の旅をしていたようです。

旧国鉄に勤めていた祖父は旅が好きで四人の娘たちを大切にしていたと、母には自慢の父だったようです。

戦後、祖父の体調がよくなり故郷の福岡（朝倉）に戻ったことで苦労も多かったのか、伊豆には母の青春の思い出がいっぱい詰まっていたのでしょう。

伊豆の旅は、山と海が近く見どころも多く、いろいろな場所で犬にやさしい、そしてなにより温泉がよい。

伊豆や箱根は、当地からも比較的近く真っ先に頭に浮かぶエリアです。

しかも、たびたび訪ねていると心の中に目的地までのイメージが生まれ、よい旅の思い出がでてくるようです。

まさに旅に慣れるとはこのようなことでしょうか。

それに季節に応じて同じエリアでも違った景色がみれること風を感じたりすることができ心の中でよいイメージが強化されます。

春は修善寺に宿泊しましたが、秋は網代にしました。

朝夕、犬と部屋食ができる宿なのでマギーと普段と変わらずいられるのはよいのですが、何分、趣味は食べることのマギーですから妻はどうなることやらと不安のようです。

家で食事をするときも、このように食いしん坊のマギーですからゲージに入れて食事をするようにしています。

旅には、車で使う折り畳み式ゲージをもっていくので、食事中はそこに入れてもらう予定です。

折り畳み式ゲージは、寝るときにも利用できます。

これに入れて寝かせて私の枕元に置いてあげると、いつもと同じようにゆっくりと寝てくれます。

まさに一石三鳥でしょうか。

なかなか使えるゲージです。

紅葉にはまだはやいですが、人が混む時期に行くのが苦手な私たち夫婦にとってマギーとゆっくりと旅ができる時期が一番です。

そして宿代も安い。

それでも伊豆や箱根は、紅葉の時期をずらしてもそれなりの人がいて人気のエリアだと、実感できます。

この秋はもう一度旅にでる予定ですが、さすがに伊豆や箱根というわけにはいかないでしょうから、新たな旅の場所を探すことになるでしょう。

那須も犬にはやさしいエリアのようですが、車を運転する私には少々遠く感じてしまいますが、よい温泉と雄大な自然に恵まれている点ではすばらしいところです。

次の旅がどこになるかわかりませんが、伊豆や箱根のようにマギーとよいイメージが生まれるような旅にしたいものです。

秋も伊豆の旅になる

著 長野修二

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
